

収支のバランスがとれた財政マネジメント

SDGsの ゴール・ 目標	15 陸の豊かさも 守ろう 
---------------------	--

実施項目名	歳入金の適切な管理 (財産の有効活用)	所管課	管財課
主な課題	行政ニーズの変化や多様化などの社会情勢の変化を踏まえ、将来に備えて保有すべき財産(土地)に留意しつつ財産コストの縮減に取り組む必要があります。 県有地等公有財産の中には、未だ活用されていない財産が多くある状況があるため、保有する必要のない財産については、積極的な売却を促進し、管理コストの縮減及び財源の確保を図る必要があります。また、一般貸付地では、借地人からの買い受け希望減少が見られるため、引き続き売却促進に取り組む必要があります。		
取組内容	県有財産(土地)については、「公有財産の管理運用方針」、「未利用財産管理処分に係る方針」等に基づき、県有財産(土地)の処分など有効活用に取り組めます。		
取組による効果	保有総量縮小による財産保有コストの縮減及び財源確保が図られます。		
県民から見た行政運営の変化 (実施項目の目標)	部局横断的な県有財産(土地)に対するマネジメント強化が図られ、財産保有コストの縮減が期待されます。		

■具体的な取組

取組項目	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	R8年度	達成目標
1 県有財産(土地)の有効活用 ①	売払(一般競争入札・随意契約)					未利用財産(土地)及び一般貸付地の適正管理による土地の有効利用
活動指標	一般競争入札による県有地処分 年1回					
2 県所有財産利活用実態調査 ②	利活用実態調査の実施、未利用財産の売却促進					未利用財産(土地・建物)の適正管理による土地の有効利用
活動指標	県所有財産(土地・建物)利活用実態調査 年1回					

■成果指標

成果指標名	基準値 (R3又はR4)	年度ごとの目標値			
		R5年度	R6年度	R7年度	R8年度
1 県有財産(土地)の売却件数	22 (R3実績)	32	32	32	32
2 普通財産貸付による歳入確保 (自動販売機設置貸付料)	125百万円 (R3実績)	125百万円	125百万円	125百万円	125百万円

【参考】これまでの主な取組

これまでの行財政改革プランで県有財産(土地)の処分に取り組んでいる。	
・新沖縄県行財政改革プラン(H22~H25)	成果:158件 3,343百万円
・第7次沖縄県行財政改革プラン(H26~H29)	成果:208件 2,213百万円
・第8次沖縄県行財政改革プラン(H30~R3)	成果:128件 4,872百万円